

# 知

**教育目標** 【知】自ら学ぶ生徒（自ら学び、気づき、考え、実践する生徒）  
**重点施策** 【確かな学力の向上】確かな学力が身についた生徒を育てる

全国学力学習状況調査結果)  
 中3：本校と全国平均正答率の差

	2016	2017	2018
国語A	-2.2	-3.4	-1.1
国語B	-1.5	-1.2	+1.8
数学A	-11.2	-3.6	+1.9
数学B	-7.5	-2.1	-0.9
理科			-0.1

到達度調査  
 中1.2 県平均正答率の差

	2016	2017	2018
国語	+0.6	+3.2	+1.6
社会	+5.7	+6.3	-2.1
数学	+2.7	+6.3	+3.2
理科	+0.3	+5.6	+0.4
英語	+4.8	+5.2	-2.4
1年数	-1.1	-0.8	-1.2



## 課題と目標

2020年全国との差2019年半分到達度5教科 那覇教育事務所管内平均以上  
 2021年学力アンゲートより数値は%左生徒 右保護者() 目標値

前年度学校楽しい教育目標理解授業の確立家庭学習が将来に役立つ	83	88	(90)
授業の理解	88	95	(95)
授業の理解	76	74	(90)
授業の理解	86	92	(95)
授業の理解	85	73	(90)
授業の理解	94	95	(95)
授業の理解	85	79	(90)

### 校内研修テーマ

思考力・判断力・表現力を育てる学習指導の工夫  
 ～神森中学校型「問題解決の授業」を通して～

2019目標 全国学力学習調査 全国平均-2.5P以内 県到達度 県平均+2P以上

## 施策

- 1 めざす授業像の共有
- 2 教材研究の充実
- 3 学習を支える力の育成
- 4 集団づくり・自主性を高める取組の充実
- 5 各種検定奨励・読書活動の充実



## 実践事項

各教科のマネジメントシート作成  
 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業実践  
 「主体的・対話的で深い学び」実践班→ア班  
 学習を支える集団づくり班→イ班  
 学習を支える力育成班→ウ班

の3つの班で以下を実践

### 1 めざす授業像の共有（方策1）ア班

他者と関わりながら課題解決に向かい「問い」が生まれる授業

【神森中型「問題解決学習」】共通実戦：子どもたちに「問い」の力を身につけさせる

「問い」→与えられた情報を受け入れるだけでなく、論理的客観的で合理的な思考を展開させる事、価値観が多様化し正解や不正解が明快に導き出せない社会で必要な力

「問い」が生まれる場面設定や創意工夫の具体例

- (1) めあめ・振り返りの確実な実施、振り返りで授業で学習したことを言語化させ、次の学習に考えさせる
- (2) 友人の意見や作品、作者の思い等の相互評価や根拠や比較の場面で言語化させ、深い学びにつなげる
- (3) 「問いを発する力（問い返しや質問する力）」を育成し対話を充実させ深い学びにつなげる

### 2 教材研究の充実（方策2）ア班

【教材研究ツール活用、各種調査結果分析活用、校内研修充実等組織的な取組】

各種資料を活用した授業改善

- (1) 「学力向上推進プロジェクト」「わかる授業プロジェクト」「問いが生まれる授業プロジェクト」等の実践
- (2) 「授業プランシート」「授業づくりのスタンダード」の活用
- (3) 小中合同研修会、校内 OJT（校内研、教科会、学年会等）充実
- (4) 各種調査結果分析活用（全国学力学習状況、到達度、各種 web 調査、定期テスト等）

### 3 学習を支える力の育成（方策4）ウ班

【学習規律徹底（全教科共通実施）学習環境整備、家庭学習習慣化】

- (1) 黙想→立腰の変更及び「授業のきまり3カ条」の徹底  
 立腰効果 ①やる気喚起 ②集中力向上 ③持続力向上 ④頭脳明晰 ⑤勉強に集中 ⑥成績向上  
 ⑦機敏な行動 ⑧バランス感覚向上 ⑨内臓機能向上 ⑩スタイル向上

☆神森中立腰スタイル：腹式呼吸+黙想

- ①鼻から3秒吸う ②2秒止める ③口から10秒程度吐く  
 ※1セット15秒を繰り返す。勉強やスポーツで成功するイメージを描き実施する。  
 「立腰」～①「チャイム・スタート」②「始めと終わりのあいさつ」③「机上の整理」
- (2) 学習しやすい教室環境（掲示物・教室保清・ロッカーの整理等）＝「クリーンライナー」
- (3) 教科と連動した「毎日課題（家庭学習）」の実践

### 4 集団づくり・自主性を高める取組の充実（方策5）イ班

（支持的風土育成、生徒指導3つのポイント、学びに向かう集団作り）

全ての教育活動において生徒指導3つのポイント「自己存在感」「自己決定の場」「共感的人間関係の構築」を活かした積極的生徒指導を展開。学級、生徒会活動等自治力活性化をめざした取組の推進。

＝徳 1 3 5と連動

### 5 各種検定奨励・読書活動の充実 ウ班

- (1) トリプルⅢ、トリプルⅢプレミアムの取組（1人で漢字検定、英語検定、数学検定の3級以上取得奨励）
- (2) 読書冊数 読み深め 全分類読破  
 0 総記 1 哲学 2 歴史 3 社会科学 4 自然科学 5 技術 6 産業 7 芸術 8 言語 9 文学



# 徳

教育目標【徳】優しい生徒（優しい心を持ち、正しく行動する生徒）  
 重点施策【豊かな心】生徒指導3つのポイントを活かした積極的生徒指導を図り豊かな心を育てる

## 課題と目標

前年度アンケート 数値は%	左生徒右保護者 ( ) 目標値	
	生徒	保護者
校則遵守	96	92 (95)
あいさつ	84	85 (90)
清掃活動	92	91 (95)
時間厳守	93	85 (95)
いじめ対応	82	93 (95)
善悪判断	95	91 (95)
地域愛	90	／ (95)
将来の夢相談	75	88 (90)
大人と悩み相談	84	88 (90)

**一事徹底**  
 時を守り  
 場を清め  
 礼を正す



2019目標「いじめを許さない学校」「規範意識の向上」「問題行動、長期欠席生徒の減少」

## 施策

- 1 積極的生徒指導・教育相談活動の充実
- 2 道徳・人権教育の充実
- 3 豊かな体験活動の実践
- 4 きれいな学校環境づくり
- 5 活躍の場創出（自治活動、地域貢献活動活性化）

**「利他(いた)の心」を育む。**  
 利他とは「誰かの幸せを我が喜びとする」という意味。  
**合い言葉（子どもも大人も）**  
**誰かの笑顔になれる人間に！**

## 実践事項

- 1 積極的生徒指導・教育相談活動の充実 = 知4
  - (1) あいさつ+一事徹底 「時を守り、場を清め、礼を正す運動」の推進
  - (2) 生徒の自治活動活性化のための活躍の場、時間の創出  
 実行委員会の創意工夫&行事との系統性意識  
 (例：学年レク、校内球技、中学校総合文化祭出演、ダンスコンテスト等のパフォーマンス、旗頭、エイサー、獅子舞、放課後子ども教室の開催等)  
 ※地域のスポーツクラブ、文化活動との連携、発掘
  - (3) 教育相談活動の充実
- 2 道徳・人権教育・特活の充実 = 知1  
 「考え、議論する道徳」を目標、内容を「自分事」として捉え、多面的・多角的に考えることを大切にし、深い学びとなる授業を展開→人権教育、特活についても開拓
  - (1) 自我関与が中心な学習  
 登場人物に自分を投影、その判断や心情を考え、道徳的価値の理解を深める。
  - (2) 問題解決的な学習  
 問題場面での生徒の考えの根拠を問う発問、自分事として仕向ける発問、道徳的価値の意味を考えさせる発問など道徳的価値を実現するための資質・能力を養う。
  - (3) 体験活動的な学習  
 問題場面を実際に体験したり、自分ならどう行動をとるかの役割演技を通して道徳的価値を実現するための資質・能力を養う。
- 3 豊かな体験活動の実践 = 知4
  - (1) いじめの根絶に向けた取組の充実及び生徒の自主活動の活性化
  - (2) 思いやりの心や善悪の判断や公共心などの規範意識の向上、正義感や公正、公平を重んじる心、美しいものに感動する豊かな感性、自立心、自己抑制力、共生の心など「豊かな心」の育成  
 → 「利他の心」の啓発運動推進。利他とは、本市が掲げる「浦添から世界平和を」「沖縄一 優しい福祉のまち」の取組の言葉。「誰かの幸せを我が喜びとする」という意味。  
 子どもも大人も統一の合い言葉→ **誰かの笑顔になれる人間に・・・**
- 4 きれいな学校環境づくり
  - (1) 日常の清掃徹底+ボランティア活動 = 知4 + 1 積極的生徒指導・教育相談活動の充実の(1)
  - (2) 定期的な美化活動実施  
 (学年 PTA、全生徒による校外清掃、大清掃) ※地域連携とリンク  
 地域と連携した特色ある C G G 運動の展開 クリーン活動+ふれあい活動
- 5 活躍の場創出（自治活動、地域貢献活動活性化） = 知4 + 3 豊かな体験活動の実践の(2)
  - (1) 幼稚園、小学校、自治会、事業所等との交流及び連携  
 ※ちゅらさん運動ジュニアリーダー、平和交流事業、社会を明るくする運動、自治活動、青少協、同窓会、PTA 等との取組
  - (2) 地域のイベントへの積極的参加

# 体

教育目標【体】健康な生徒 (体をきたえ、健康・安全に努める生徒)  
 重点施策【健やかな体】たくましい生徒を育てる(ねばりぬく力)

前年度アンケート  
 数値は% 左生徒 右保護者 ( ) 目標値  
 生徒 保護者  
 健康安全な過ごし方 91 95 (95)  
 病気の予防健康管理 87 98 (95)  
 体力テスト結果～課題解決 90 79 (95)  
 基本的な生活習慣 85 84 (90)  
 学校平均 (1～3年) 体格、体力の推移



## 課題と目標

		身長	体重	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
男子	2018年度	158.9	49.1	29.4	27.1	42.6	54.7	79.4	8.2	199.3	25.1	43.7
	2017年度	159.0	49.2	29.5	25.8	43.1	51.6	76.3	8.2	192.2	23.1	41.1
	2016年度	159.9	49.7	31.0	27.1	43.6	52.6	73.9	8.2	193.4	23.2	42.6
女子	2018年度	153.7	47.2	23.2	23.1	50.5	48.9	54.8	9.0	169.8	15.0	51.3
	2017年度	153.7	47.1	23.7	22.7	48.1	48.2	54.0	9.1	172.8	14.5	50.5
	2016年度	153.5	47.2	24.0	22.0	47.7	49.1	52.2	9.2	167.9	14.3	49.7

### 【2018年度データ】

	身長	体重	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
1年男子	152.3	43.4	23.9	24.7	38.0	52.9	67.3	8.5	182.1	21.4	36.3
2年男子	158.9	48.2	29.4	26.5	43.2	52.1	79.5	8.6	200.7	23.7	41.6
3年男子	165.4	55.6	35.0	30.0	46.8	59.2	91.5	7.6	215.1	30.2	53.3
学校平均	158.9	49.1	29.4	27.1	42.6	54.7	79.4	8.2	199.3	25.1	43.7
県平均	159.4	49.1	29.8	26.0	42.4	50.3	78.4	8.1	196.8	22.3	41.3
全国平均	159.7	48.4	29.8	27.8	43.4	53.4	88.2	7.9	198.4	21.4	43.7
	身長	体重	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
1年女子	151.5	44.3	21.0	20.6	43.5	46.9	50.0	9.2	164.9	14.1	45.5
2年女子	154.6	48.7	23.4	23.6	55.5	49.3	58.2	9.0	167.3	15.1	52.7
3年女子	155.2	48.7	25.2	25.0	52.4	50.4	56.4	8.8	177.3	15.8	55.8
学校平均	153.7	47.2	23.2	23.1	50.5	48.9	54.8	9.0	169.8	15.0	51.3
県平均	153.7	47.0	23.9	22.0	45.3	46.8	53.6	9.0	168.7	14.1	48.9
全国平均	154.5	46.3	24.1	23.6	45.8	47.6	59.9	8.7	171.2	13.5	50.9

2019目標 「健康に係る自己管理能力の向上」「運動能力(持久力:粘り強さ)の向上」  
 全国平均over 合計点 反復横跳び ハンドボール投げ 男子立幅跳  
 努力項目 シャトルラン目標値 男子85 女子58

## 施策

- 1 健康・安全に係る自己管理能力を高める指導の充実
- 2 体力づくり計画の実践
- 3 運動能力の向上、
- 4 基本的な生活習慣の確立
- 5 部活動の活性化と適正化

☆神森中立腰スタイル  
 :腹式呼吸+黙想  
 ①鼻から3秒吸う  
 ②2秒止める  
 ③口から10秒程度吐く

## 実践事項

- 1 健康・安全に係る自己管理能力を高める指導の充実
  - (1) 主体的、対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり
  - (2) 話し合い、励まし合い、伝え合う活動の推進
  - (3) 立腰+一徹徹底 「時を守り、場を清め、礼を正す運動」の推進
- 2 体力づくり計画の実践
  - (1) 合同トレーニング企画、実施 体育委員会
  - (2) 泳力向上補習
- 3 運動能力の向上、
  - (1) 月例記録会等実施(新体力テスト、シャトルラン等)結果掲示
- 4 基本的な生活習慣の確立
  - (1) 健康教育、安全教室実施(薬物乱用防止、SNS、防災訓練等)
  - (2) 食育、保健、危機回避能力育成のための健康教育の充実
- 5 部活動の活性化と適正化
  - (1) 練習時間の適正は平日2h 休日4hまで  
 ※平日の部活休養日設定 生徒の自治活動活性化のための活躍の場、時間の創出の研究
  - (2) 学習意欲向上とリンクした部活経営
  - (3) クラブチーム、地域の活動等の活躍状況把握及び激励(サッカー 硬式野球、ボウリング、ダンス 柔道、剣道、空手、エイサー、旗頭等含む)

※1セット15秒を繰り返す。  
 勉強やスポーツで成功するイメージを描き実施する。

